

実地視察大学の概要

○課程認定を受けている学科等の概要

| 大学名 | | 京都府立大学 | | 設置者名 | | 京都府公立大学法人 | | | |
|------------|---|--------|---------------------|--------|--------------------------|-----------|-----|------------|--|
| 学部・学科等の名称等 | | | 認定を受けている免許状の種類・認定年度 | | 免許状取得状況・就職状況 (平成25年度) | | | | |
| 学部 | 学科等 | 入学定員 | 免許状の種類 | 認定年度 | 卒業者数 | 免許状取得者数 | | 教員 就職者数 | |
| | | | | | | 実数 | 個別 | | |
| 文学部 | 日本・中国文学科 | 30人 | 中一種免(国語) | 平成20年度 | 37人 | 12人 | 11人 | 6人 | |
| | | | 高一種免(国語) | 平成20年度 | | | 12人 | | |
| | 欧米言語文化学科 | 30人 | 中一種免(英語) | 平成20年度 | 34人 | 5人 | 4人 | 1人 | |
| | | | 高一種免(英語) | 平成20年度 | | | 5人 | | |
| | 歴史学科 | 40人 | 中一種免(社会) | 平成20年度 | 45人 | 14人 | 12人 | 4人 | |
| | | | 高一種免(地理歴史) | 平成20年度 | | | 14人 | | |
| 公共政策学部 | 公共政策学科 | 50人 | 中一種免(社会) | 平成20年度 | 62人 | 1人 | 1人 | 0人 | |
| | | | 高一種免(公民) | 平成20年度 | | | 1人 | | |
| | 福祉社会学科 | 50人 | 高一種免(福祉) | 平成20年度 | 56人 | 1人 | 1人 | 0人 | |
| 生命環境学部 | 食保健学科 | 25人 | 中一種免(家庭) | 平成20年度 | 26人 | 7人 | 4人 | 2人 | |
| | | | 高一種免(家庭) | 平成20年度 | | | 4人 | | |
| | | | 栄養一種免 | 平成20年度 | | | 6人 | | |
| | 環境デザイン学科 | 40人 | 中一種免(家庭) | 平成20年度 | 39人 | 0人 | 0人 | 0人 | |
| | | | 高一種免(家庭) | 平成20年度 | | | 0人 | | |
| | 環境・情報科学科 | 25人 | 中一種免(理科) | 平成20年度 | 28人 | 0人 | 0人 | 0人 | |
| | | | 高一種免(理科) | 平成20年度 | | | 0人 | | |
| | | | 高一種免(情報) | 平成20年度 | | | 0人 | | |
| | 農学生命科学科 | 48人 | 中一種免(理科) | 平成20年度 | 48人 | 9人 | 3人 | 0人 | |
| | | | 高一種免(理科) | 平成20年度 | | | 7人 | | |
| | | | 高一種免(農業) | 平成20年度 | | | 3人 | | |
| | 森林科学科 | 35人 | 中一種免(理科) | 平成20年度 | 31人 | 3人 | 3人 | 1人 | |
| | | | 高一種免(理科) | 平成20年度 | | | 3人 | | |
| | | | 高一種免(農業) | 平成20年度 | | | 0人 | | |
| | 生命分子化学科 | 31人 | 中一種免(理科) | 平成20年度 | 34人 | 1人 | 1人 | 0人 | |
| 高一種免(理科) | | | 平成20年度 | 1人 | | | | | |
| 高一種免(農業) | | | 平成20年度 | 0人 | | | | | |
| 入学定員合計 | | 404人 | 合計 | | 440人 | 53人 | 96人 | 14人 | |
| 備考 | <ul style="list-style-type: none"> ・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。 ・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。 | | | | | | | | |

| 大学名 | | 京都府立大学大学院 | | 設置者名 | 京都府公立大学法人 | | | |
|-------------------|--|-----------|---------------------|--------|--------------------------|---------|-----|------------|
| 学部・学科等の名称等 | | | 認定を受けている免許状の種類・認定年度 | | 免許状取得状況・就職状況 (平成25年度) | | | |
| 学部 | 学科等 | 入学定員 | 免許状の種類 | 認定年度 | 卒業者数 | 免許状取得者数 | | 教員 就職者数 |
| | | | | | | 実数 | 個別 | |
| 文学 研究科 | 国文学中国文学 専攻 | 5人 | 中専免(国語) | 平成20年度 | 11人 | 3人 | 3人 | 2人 |
| | | | 高専免(国語) | 平成20年度 | | | 3人 | |
| | 英語英米文学 専攻 | 5人 | 中専免(英語) | 平成20年度 | 1人 | 1人 | 1人 | 0人 |
| | | | 高専免(英語) | 平成20年度 | | | 1人 | |
| | 史学専攻 | 8人 | 中専免(社会) | 平成20年度 | 10人 | 3人 | 3人 | 0人 |
| | | | 高専免(地理歴史) | 平成20年度 | | | 3人 | |
| 公共政策 学研究科 | 公共政策学専攻 | 6人 | 中専免(社会) | 平成20年度 | 4人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | | | 高専免(公民) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| | 福祉社会学専攻 | 6人 | 高専免(福祉) | 平成20年度 | 6人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| 生命環境 科学 研究科 | 応用生命科学 専攻 | 45人 | 中専免(家庭) | 平成20年度 | 46人 | 2人 | 0人 | 1人 |
| | | | 高専免(家庭) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| | | | 中専免(理科) | 平成20年度 | | | 1人 | |
| | | | 高専免(理科) | 平成20年度 | | | 1人 | |
| | | | 高専免(農業) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| | | | 栄養専免 | 平成20年度 | | | 1人 | |
| | 環境科学専攻 | 25人 | 中専免(家庭) | 平成20年度 | 41人 | 0人 | 0人 | 0人 |
| | | | 高専免(家庭) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| | | | 中専免(理科) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| | | | 高専免(理科) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| | | | 高専免(農業) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| | | | 高専免(農業) | 平成20年度 | | | 0人 | |
| 入学定員合計 | | 100人 | 合計 | | 119人 | 9人 | 17人 | 3人 |
| 備考 | <p>・「学部・学科等の名称等」欄は、平成26年4月1日現在の名称・定員である。</p> <p>・「免許状取得者数」欄の「実数」欄は各学科等の実人数、「個別」欄は各学科等内の教職課程ごとの人数である。</p> | | | | | | | |

教職課程実地視察大学に対する講評

実地視察日：平成26年7月16日（水）

実地視察大学：京都府立大学

実地視察委員：渡辺三枝子委員、渋谷治美委員

【全般的事項】

- 教員養成に関する教育課程及び教員組織等について、教職課程認定基準等の観点ではおおむね問題無く実施されているものの、その他では是正すべき点も確認された。今後教員養成の水準の維持・向上に努めていただきたい。

【個別事項】

1. 教職課程の実施・指導体制（全学組織等）

- 120年近い歴史と伝統を活かした、教員養成に対する理念・構想は示されているが、それを具体化するための教職課程に対する全学的な組織、教育課程及び教員組織をより一層充実させるように努めていただきたい。
- 教職課程は、「教科に関する科目」と「教職に関する科目」によって編成されるものであり、両科目を担当する教員が協力して教職課程を運営していくことが重要である。現行においては、教職課程の運営について、「教職に関する科目」を担当する一部の専任教員に依拠しているように見受けられる。今後、各学科に所属する「教科に関する科目」を担当する専任教員も教職課程の運営に積極的に参加する様な仕組みを構築し、創設の準備中である教職センターが全学的な組織として機能することを期待する。

2. 教育課程（教職に関する科目及び教科に関する科目）、履修方法及びシラバスの状況

- 授業計画において、授業内容が同一の回及び同様の内容を数字のみで区別している回がみられたため、シラバス全般を確認し、各授業回で学習する内容が明確になるよう、修正すること。
- 「教職に関する科目」について、教育職員免許法施行規則第6条第1項表に定める「各科目に含めることが必要な事項」が含まれているか否か、シラバスからは判断できない授業科目があるため、法令で扱うこととしている内容は必ず扱うとともに、科目の趣旨に照らして適切な授業内容となるように、内容を再度検討すること。なお、シラバスの記載内容及び記載方針を定め、法令に定める「各科目に含めることが必要な事項」が取り扱われているかどうかをシラバスの授業計画から確認出来るようにすること。

3. 教育実習の取組状況

- 教育委員会と連携し、大学の近隣の学校を教育実習先として確保しているほか、全ての教育実習先に担当指導教員が巡回指導を行うなど、丁寧な教育実習指導が行われている状況が確認された。引き続き、地元教育委員会・学校と連携を進め、巡回指導を含め、適切な教育実習指導に努めていただきたい。

4. 学生への教職指導の取組状況及び体制

- 教職を目指す学生全員に対して、一定の水準以上の教職指導が実施されるように、体系的かつ組織的に指導していくための体制を御検討いただきたい。
- 教職センターについては、教科専門の教員を含めて多くの教員が教職指導に関わるような全学的な協力体制が構築されることを期待する。

5. 教育委員会等の関係機関との連携・協働状況（学校現場体験・学校支援ボランティア活動等の取組状況）

- 教職に関心のある学生が、早い段階から学校におけるボランティア活動等を通じて、教職の魅力や教員としての適性等を把握した上で、教員免許状の取得を目指すことは重要であることから、教育委員会との関わりに加えてボランティア活動への参加等、地元教育委員会・学校との連携・協働に努めていただきたい。

6. 施設・設備（図書を含む。）の状況

- 教科専門、教育学関連、特別支援に関する図書等の教職関連図書を各学部学科で所有している他、図書館の通路に教育関係の図書が配置される状況が確認された。配架状況を再度確認し、学生が利用しやすいように、関連図書の配架場所の配慮をしてほしい。
- 障害をもつ学生が相談や学習を行うスペース（「障害学生学習支援室」）が開設されているが、さらに安全かつ他の一般学生との交流が可能となるよう、配置の工夫等を通じて、一層の充実を努めていただきたい。

7. その他特記事項

- 特になし。